

第46回日本体外循環技術医学会九州地方会大会報告

大会長：中田正悟

この度、2021年6月20日（日）に第46回日本体外循環技術医学会九州地方会をweb形式にて開催いたしましたので、報告させていただきます。

本大会は本来であれば2020年6月に開催する予定でしたが、同年1月突如として「中国の武漢で新型のウイルスによる肺炎が広がっている」というニュースが報道されました。新型コロナウイルス（以下COVID-19）と呼ばれるウイルスは、瞬く間に世界中に広がり、わずか3ヶ月で、世界の感染者は200万人、死者数は16万人に達しました。日本でも1月中旬に最初の感染者が確認され、国内での感染者が急増し始めた3月には大分でも初の感染者が報告されました。連日のように感染者の増加が報道される中、2020年4月の九州地方会運営審議会にて開催を1年延期することが決定いたしました。延期が決定した後もスタッフ一同現地開催を目標に準備を進めて参りましたが、COVID-19の感染拡大は収束することなく第4波となり、開催の1ヶ月前の5月に緊急の4役会議を開催していただき、ZOOMウェビナーを使用したweb形式でプログラム内容を一部変更及び短縮した形での開催が決定いたしました。

本大会は“move to the next”とテーマを掲げ、変化する環境への対応や、次世代への技術や知識をつなげていくための一助となる大会になればと考えていましたが、COVID-19感染拡大の影響により、after コロナやwith コロナに向けてのメッセージにもなったのではないかと思います。

大会プログラムは教育講演、シンポジウムⅠ・Ⅱ、一般演題、ビギナーズセッションと一部短縮した形での開催となりましたが、130名（会員・非会員・名誉会員含む）の方々にご参加していただきました。

教育講演では、弘前大学医学部附属病院 臨床工学技士長 後藤武先生に、送血カニューレの開発に携われその経験から、基礎研究と臨床評価にご講演いただきました。先生が大学院生として在籍された研究室での微粒子の挙動解析や、数値シミュレーション用いての研究結果には圧倒されました。確実に臨床業務だけを行っていたのでは、そのような経験は出来ません。我々中堅世代もそうですが、これから第一線で活躍する20代・30代にも今後のperfusionstとしての将来を考える良い刺激となったのではないかと思います。

シンポジウムⅠでは「MICSの体外循環」について4名の演者の方々に各施設のセッティングや変遷、方法と工夫などを中心に発表していただき、その後の座長の進行により各施設の経験などを掘り下げていただき、今後症例の増加

が予想される MICS での体外循環について、これから始める施設においても良い参考になったのではと思います。

シンポジウムⅡでは「COVID-19 における ECMO 管理」について 3 名の演者の方々に発表していただきました。本大会が延期となった最大の要因である COVID-19 ですが、重傷者への ECMO 管理において我々臨床工学技士がメディア等で取り上げられ認知度が上がったことも事実です。発表ではハイボリュームセンターでの現状や経験などや、大多数である 1~2 例の症例経験の施設からは少ない情報の中での工夫や、救えなかった症例経験を次に活かした症例等を発表していただきました。まだまだ収束の見えない COVID-19 において今後第 5 波も予想される中 ECMO 管理についてのヒントや九州地方会ならではの柔軟な情報共有が図れる場になりました。

一般演題とビギナーズセッションではそれぞれに BPA (Best Presentation Award) を設けました。審査員は参加者全員で画面に提示した QR コードよりアクセスしていただき、アンケート形式にて集計しました。全員参加とはいきませんでしたが、それぞれ約 70 名の方々に参加していただき BPA 企画としては成功したのでは、と思います。演者の方々におきましては web 発表が初めての方が多く、大きなトラブルも無くスムーズに発表されていて、運営スタッフも安心して聴講することができました。本大会の企画の一つでもあるビギナーズセッションにおいては九州地方会以外からの発表もありました。皆さん体外循環経験 5 年以下・演題発表 3 回未満のビギナーとは思えない発表で、本大会を機に今後も益々活躍していただきたいです。また、座長の野田様・中西様には大会長の意図を汲んでいただき、質問だけではなく演者へのアドバイス等もいただき、発表者の方々にとっては次につながる発表になったのではと思います。

今回、九州地方会大会初の web 開催となりました。COVID-19 が収束しないなか“開催中止”も頭を過ぎり、四役の方々にも幾度となく相談させていただきました。最後は溝口事務局長や森実行委員長をはじめとする運営スタッフと四役の後押しもあり、web 開催を決断することが出来ました。web 開催が決定し、準備まで 1 カ月足らずという期間で急遽 ZOOM 運営のノウハウのある前田副代表幹事や長崎県臨床工学技士会等の協力を得て、事前の各演者との接続テストから当日の大会運営までサポートしていただかなければ今回の成功はありませんでした。改めてお礼申し上げます。

今回コロナ禍での大会長を経験し、学会の web 開催での可能性なども見いだせましたが、対面式での学会開催の重要性（特に九州地方会は）を再認識できた大会だったのではと思います。

最後になりますが、本大会がweb開催となり実施出来なかった特別講演の迫先生、後藤先生、メーカープレゼンテーションの企業・プレゼンター・座長の方々、企業展示に協賛いただいていた関係企業の方々、延期や開催方式変更で発表を辞退せざるを得なかった方々にこの場を借りてお詫び申し上げます。また、併設で開催予定をしていた実技セミナー・卒後セミナーの関係スタッフの方々にもあわせてお詫び申し上げます。

第47回大会は対面式での開催しか考えていないという清水大会長の熱い言葉が実現し、皆様とお会いできることを楽しみにしています。2年越しにはなりましたが、受け継いだ襷を清水大会長に繋げ、第46回大会の報告とさせていただきます。

第46回
**日本体外循環技術医学会
九州地方会大会**
move to the next



会期：2021年6月19日(土)~20日(日)
会場：J:COM ホルトホール大分
大会長：中田 正悟 (社会医療法人 敬和会 大分岡病院)

事務局
大分大学医学部附属病院 ME 機器センター内 〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1丁目1番地
TEL 097-549-4411 (PHS:5768) FAX 097-586-6123 Mail jasect4kyu@gmail.com

主催 日本体外循環技術医学会九州地方会 後援 公益財団法人 大分臨床工学技士会



大会長：中田 正悟



教育講演：後藤 武様

シンポジウムⅠ



座長：小柳 亮様



座長：森 聡史様



シンポジスト：笠野 靖代様



シンポジスト：玉城 由尊様



シンポジスト：定松 慎矢様



シンポジスト：安藤 昇様

シンポジウムⅡ



座長：小原 大輔様



座長・シンポジスト：山崎 慎太郎様

シンポジウムⅡ



シンポジスト：溝口 貴之様



シンポジスト：新蔵 康浩様

一般演題



座長：杉山 哲司様



座長：矢野 宏貴様



演者：東舟道 志乃様



演者：今山 史教様



演者：岩崎 麻里絵様



演者：濱口 真和様

一般演題



演者：塚野 雅幸様



演者：渡邊 直貴様

ビギナーズセッション



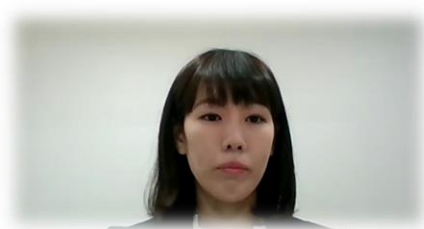
座長：野田 政宏様



座長：中西 清隆様



演者：棧敷 翼様



演者：宮崎 栞様



演者：矢野 元基様



演者：源田 卓郎様



演者：堤 悠亮様

第 47 回大会告知



第 47 回大会長：清水 重光様

第 27 回秋季セミナー告知



第 27 回世話人：小柳 亮様

総評



九州地方会代表幹事：堤 善充様



理事長：百瀬 直樹様

運営スタッフ

